

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	5	暗証番号を入力できない利用者もいるのため、だれもが自由に外に出ることは出来ない。入居者のその日の状況によっては、開場する時間を徐々に作って自由な暮らしを支援してほしい。	1・暗証番号を(開錠時)わかりやすい所に張りだし出入りを可能にする(日中) 2・季節に応じて可能な日に自動を解除し手動に切り替える	1・暗証番号方法が可能か(職員引率)経験を重ねる2・自動ドアを昼間解除し手動にする、利用者様が、玄関に行ったことを知らせる策をとる、必要な場合は、感知センサー各種を使用して良い方法を見つける	1.5ヶ月
2	35	利用者と職員がいざという時に慌てないよう自主訓練を行い、避難技術を身に付けてほしい。地域特有の災害を想定した訓練や備蓄の用意もお願いしたい。	年2回の消防立会訓練の他に、この地区特有の災害又職員数の少ない夜間帯非常時の避難誘導等にあわてず対応できるべく訓練を重ねていきます。	・夜間帯災害を想定した訓練 ・地区特有の災害例えば大雪時の対応 ・京塚地区集会所への避難訓練(自力・自動車) ・火災発生場所の避難口使用方法及びスプリンクラー停止・以上の解除訓練等。	5ヶ月
3	40	献立を家族に知らせてほしい。飲み物のメニューを作り利用者の選択の機会にしたいかがか。	家族様に月の献立作成をして月おわりに郵送、もしくは面会時に渡すなどで、家族様に食事内容を把握していただきます。飲み物は個々に飲みたいものを選択できるようにします。	・献立表作成配布担当者を決める ・飲み物メニューをホワイトボード等に記入して個人が目で見て選択できるようにします。	5ヶ月
4	33	現在は個別で話し合いがもたれているが、事業所としての終末期に関する指針を早めに作成し、家族等の希望に対応してほしい。	事業所の週末末期指針を作成し、家族様の希望があれば、事業所指針にそって家族様の要望に応えていきたいと考えております。	終末末期指針の作成をし、希望家族に対応できるようにする。	5ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。